

# 金木 ざり

## 町の人口と世帯数

人口	男	7,249人
	女	7,475人
	計	14,724人
世帯数		3,819帯帯

(昭和55年8月1日現在)

発行 青森県金木町役場 編集 企画室



## 冷害危機突破 町民大会開催

今月十六日、農業者トレ  
 ーニングセンターで「冷害  
 危機突破金木町民大会」が  
 開催されました。  
 大会では、町民九百人が  
 参加する中、田中町長が冷  
 害に取り組む強い決意を表明  
 また各団体及び参加者から  
 も実態報告や救済対策につ  
 いての要望が出され、大会  
 決議案十二項目が満場一致  
 で可決されました。  
 また、急遽駆け付けた木  
 村守男代議士ほか来賓から  
 激励のことがあり、大会  
 の幕を閉じました。

農産物と人口の関

# 減 壊 物



## 被害額は21億円余

…七月以来の異常低温、日照不足等により、当町の農作物は壊滅的な大打撃を受けている。  
金木町農作物冷害対策本部が九月十日現在で調べたところ、被害額は二億三千五百万円と推定され、これからさらに増えるものと思われる。……

シワシワ襲ってきた冷害。誰もが考えてもみなかったに違いない。七月の異常低温。例年だと蒸し暑くジリジリと照りつける太陽が、今年のはんの二、三日。稲の出穂は遅れたが、それでも天候が回復してなんとか持ち直してくれるだろうという期待をこめて、病害虫や水管理に注意しながら、天候を見まもってきました。町でも、八月十二日、不順天候対策本部（本部長田中町長）を設置し、水稲の出穂状況の調査や管理指導情報の提供等をして、これに対処してきました。しかし、八月二十一日と二十二日の二日間天候が回復を見せたのですが、二十三日から再び下り坂となり、冷夏はそのまま推移し、冷害が確定的となっていました。

九月一日、不順天候対策本部を、金木町農作物冷害対策本部（本部長田中町長）に切替え、被災農家の救済に対処することになりました。四月に開催した冷害対策会議では、前日の町内十三と推定されました。また、国・県に対する十一項目の要望が承認されました。



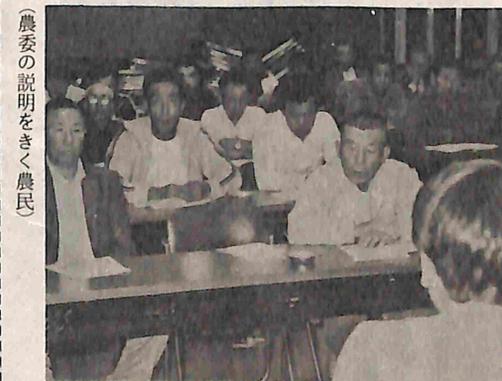
翌五日、木村守男代議士が冷害調査に来町、田中町長より被害の説明を受け、嘉瀬地区を視察しました。また、午後には、県と県議会へ要望書を提出、県農業共済連へ共済金の早期支払等を強く要望してきました。

## 巡回農業相談会 行う

8月25日～9月3日 二百五十人参加

冷害に悩む農家の意見を聞くため、金木町農業委員（榊引政雄会長）では、先月二十五日から今月三日まで、町内八カ所で巡回農業相談会を開催してきました。相談会では、農地制度の改正、農用地高度利用促進事業等について委員会から説明があり、その後、農家から要望が出されました。それらは、「多額の共済金が支払われるように。農業制度資金の貸付条件が緩和されるように。種もみの確

保と買入れに助成金を。町税の減免処置を。皆無作水田の認定を早くして青刈りできるように。」など、冷害に對しての救助策を望むものばかりでした。町内八カ所で延べ二百五十人が参加したこの相談会の結果は、金木町農作物冷害対策会議で



（農委の説明をきく農民

も審議され、国県への要望事項になっています。

会」を開催し、約九百人の町民が参加、十二項目の要望事項が決議されました。これらは、翌十七日、県など関係機関へ陳情されました。

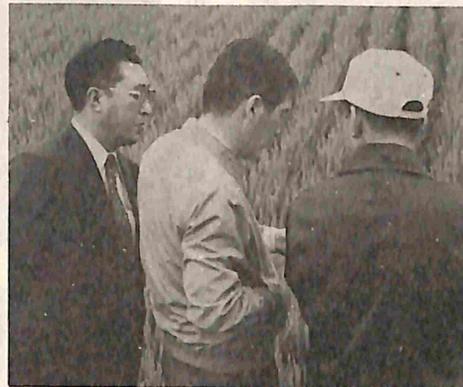
# 農 作



当町の冷害を視察する北村知事(右から二番)と竹内代議士(左端)

カ所の作況調査の結果を報告、これによると当町の被害額は十九億三千四百万円

そして、十日、これまでも作況調査等の資料を整理したところ、三日現在の三十五%とみられていた作況指数が、水稲では二十八%に落ちこみ、その被害金額は約二十億五千八百二十五万五千円と推定、また、葉



(→現地視察に来た木村代議士)



(←田沢・竹内両代議士)

たばこでも三十%以上の被害が予想され、約六千七百万円の減収、飼料作物の青刈ヒエにも約一千万円の減収など、被害金額は実に二億一億三千五百万円と推定されました。

十三日には、田沢吉郎代議士、竹内黎一代議士が冷害の調査に来町し、金木の玉水地区を視察

しました。十六日、中里町を北村知事が視察すると聞いて、田中町長は冷害対策本部委員らと陳情に行き、知事と会談、予定を変更してもらい、金木の玉水地区を視察してもらいました。

県等へ陳情して、救済対策を一刻も早く講じて下さるよう要望していますが、被害にあった農家のみなさんが意気消沈としていてはどうにもなりません。今こそみなさんが一丸となって、冷害対策に頑張りましょう。

## 冷害被災農家に対する救済対策要望決議事項

- ①、天災融資金の早期発動及び激甚災害法の指定。
- ②、自作農維持資金の融資枠の確保と貸付限度額の引き上げ。
- ③、諸制度資金の既貸付金の償還条件の緩和措置。
- ④、農業共済金早期支払措置及び完全実施。
- ⑤、水稲皆無作地域については早期皆無確認の認定
- ⑥、種子確保対策等再生生産確保対策に対する助成。
- ⑦、五十五年産米予約概算金の返納を五十六年度へ繰延べ、ならびに返納に係る利子の減免措置。
- ⑧、飯米を確保できない被災農家に政府米の貸し付措置。
- ⑨、低品位米(規格外米)の全量買上げ措置。
- ⑩、救農土木事業実施のため公共事業の増枠(農家の所得につながる事業の選択)
- ⑪、所得税等の減免措置と地方財政の援助措置。
- ⑫、被災農家の出稼者に対する完全且つ安全就労。

# 町制施行六十周年 町村合併二十五周年 統合金木小学校他落成 記念式典挙行

今年、町制が施行されてから六十周年、また、金木町、嘉瀬村、喜良市村の三町村が合併して新しく金木町となつてから二十五周年目に当たりますので、統合金木小学校、吊り橋（桜松橋）、老人福祉センターの落成式と共に、その記念式典が、九月十二日、統合金木小学校で挙行されました。



（式辞を述べる田中町長）



（夫婦三代による渡り初め）



（表彰を受ける歴代町長）

不順天候が続く、しかも台風が近づいているだけに天候が心配されていたので、吊り橋の渡り初めが行われる午前中は晴天となり、あたたかみ式典を祝っているかのよう

川清石工門一家（喜良市）の四家族を先頭に、民俗芸能荒馬踊り、参列者五十人が次々と渡って行われました。小学校で行われた式典には、竹内黎一代議士、花田一、原田一実両県議会議員をはじめ、町議会議員ら来賓約五百人が出席。まず初めに、田中町長が、「町制が施行されて六十周年、また

でした。

渡り初めは、夫婦三代の田中多作一家（金木）、伊藤満平一家（嘉瀬）、松川兼次郎一家（嘉瀬）、古川清石工門一家（喜良市）の四家族を先頭に、民俗芸能荒馬踊り、参列者五十人が次々と渡って行われました。

町制合併二十五周年という記念すべき年に、町の発展を象徴する幾多の施設が完成し、ここに合同落成式典を挙行できることは喜びにたえません。今後も「豊かで住みよい文化の町」づくりを目標に、農業を基盤産業とし、農林、観光資源の開発に全力を挙げて取り組む覚悟です」と式辞を述べ、続いて金木ロータリクラブ（今誠康会長）から、これを記念して建てられたブロンズ像（地球を男女で高く持ち上げている「希望」：金木小学校玄関前に設置）等の目録が田中町長に贈呈されました。また、記念表彰では、歴代町長として

## 国保優良世帯 表彰される

### 54年度は53世帯

町では、54年度の金木町国民健康保険被保険者の優良世帯53世帯を表彰し、その表彰式が9月1日、金木町中央公民館で行われました。

この優良世帯とは、国民健康保険税を全額納めており、年度中、全く国民健康保険被保険者証を使わず無疾病であった世帯をいいます。

式では、田中豊蔵町長から、「これからも、ますます健康に留意し、家族みんな仲良く、そして明るい町づくりにご協力下さい。」とあいさつがあったあと、53世帯に表彰状が授与されました。

表彰された世帯は、次のとおりです。（敬称省略）

- （金木）（大東ヶ丘）田中朝五郎（旭ヶ丘団地）津島義弘、角田勝利（昭和町）土岐タマ、佐々木みや（美晴町）太田静江（上山道町）溜井要次郎（南新町）小山内まつ江（田町）江良京子、藤元栄、鳴海勇治（本町）高橋君江

- （栄町）酒井ミチ、伊藤玲子（芦野町）鈴木ヤエ（新富町）大野剛（若松町）太田徹、鈴木尊司、津島勘之丞、竹谷佐蔵、沢田敬三（朝日町）田中才五郎、中谷チエ（神明町）角田誠一（米町）長尾竜雄、木田りつ（小川町）松野キヨイ（川端町）楠美佐千江（三軒町）松橋光義、白川俊明（嘉瀬）（下古町）白崎秀、鳴海つや（本町）鳴海キクエ（冷水）沢田惣市、蛸島ミヨ（上昭和町）坂本清蔵（下昭和町）今ツル（上小栗崎）山中敏正（下派立）浜田すみ（上新町）松川忠勝（東町）八幡正平（上派立）木下ソヨ花田明（中派立）工藤君男（喜良市）（東岩見町）今玉蔵（西岩見町）伊藤邦雄（林町）岡田専九郎（北本町）奈良勝雄、岡田勝男（下派立）桑田勝夫（上柏木）飯塚一美（川端町）古川イサラ（南本町）伊丸岡経子

木立民五郎氏、大橋忠雄氏、花田一氏、大橋忠勝氏の四氏が、また、歴代議長では伊藤宮雄氏、中村美智男氏、原田一実氏、大橋勇五郎氏、木村金利氏、野宮雄造氏の六氏と現議長の今久米雄氏が、町議会議員四期以上では、今久米雄氏、野宮雄造氏、大橋勇五郎氏、沢田茂氏、伊藤清慈氏、秋元武治氏、竹内武六氏の七氏がそれぞれ町長より表彰されました。

〔祝辞を述べる竹内代議士〕



また、今回落成した各施設の関係者並びに寄贈者らには、田中町長より感謝状が贈られました。

また、今回落成した各施設は次のとおりです。



○統合金木小学校  
金木小と蒔田小を統合して、五十三年七月に着工、総工費八億一千九百五十万円をかけ、今年八月に完成。校舎は鉄筋コンクリート造三階建て、面積約五千六百平方メートル。このほか、大小二つの体育館等があります。



このあと、田村県地方課長（知事代理）、竹内黎一代議士らが来賓祝辞を述べ、表彰者を代表して木立民五郎氏が謝辞を行い、式を閉

○吊り橋（桜松橋）  
太宰碑のある登仙崎とその対岸を結んだもので、総工費七千八百円で昨年十二月に着工、今年六月に完成。橋渡長百二十八・七五メートル、有効幅員一・六メートル。



○老人福祉センター  
川倉賽の川原の東側に、総工費一億二千九百八十万円です。三月に完成。鉄筋コンクリート造二階建て、温泉浴場やステージ付の大広間があります。



## 金木地区防犯弁論大会

開催される

一位に野宮康子さん

今日五日、金木中学校で第二十八回金木地区少年防犯弁論大会が金木地区防犯協会（会長田中町長）主催で開催されました。大会は、まず田中町長大会長が「子供たちが非行に走らぬよう、実りある大会となることを期待します。」とあいさつを述べ、間山金

木警察署長のあいさつのもと、弁論が開始されました。二町二村で構成される金木地区防犯協会内の中学校七校から二名ずつ計十四名が熱弁を展開しました。結果は、個人では、一位が金木中三年の野宮康子さん、二位が武田中三年の竹内ひとみさん、三位が内潟中三年の秋元志保さん、また団体では、一位内潟中、二位金木中、三位中里中となりました。



一位の野宮さんは、少年防犯弁論大会へ出場することになっていました。

# いつまでも お元気で

## 第十二回

### 金木町老人福祉大会

#### 開かれる



今月十七日、金木町中央公民館で、第十二回金木町老人福祉大会が盛大に行われました。十時に開会し、修礼のあと開会のことばを金木町老人クラブ連合会副会長の三浦禪雄氏が述べ、

黙禱、国歌斉唱につづいて、主催者あいさつを金木町社会福祉協議会長花田一氏、激励のことばを田中町長がそれぞれ述べ、顕彰に移りました。

(激励のことばを贈る田中町長)



迎えた鳴海さん夫婦ほか三十五名と二組が受彰され、受彰者を代表して大田助七さん(金木若松町)が謝辞を述べました。

迎えた鳴海さん夫婦ほか三十五名と二組が受彰され、受彰者を代表して大田助七さん(金木若松町)が謝辞を述べました。

迎えた鳴海さん夫婦ほか三十五名と二組が受彰され、受彰者を代表して大田助七さん(金木若松町)が謝辞を述べました。

迎えた鳴海さん夫婦ほか三十五名と二組が受彰され、受彰者を代表して大田助七さん(金木若松町)が謝辞を述べました。

迎えた鳴海さん夫婦ほか三十五名と二組が受彰され、受彰者を代表して大田助七さん(金木若松町)が謝辞を述べました。

に(蒔田)今サト(あしの園)鳴海きぬ(嘉瀬本町)鳴海サヨ、今トメ(下派立)桜庭永紀(喜良市南本町)今運次郎(川端町)西村ふよ(林町)石戸谷才吉(金木北新町)大橋つね(新富町)外崎イヨ(蒔田)三瀉キク(湯の川)成田平内吉(あしの園)

○満八十五歳に達した長寿者 角田リサ、小野慶造(金木町) 柳引ミネ(南新町) 太田助七(若松町) 白川弥吉(川倉林下) 浅利多次郎(上宇田野) 長利そよ(あしの園) 津田孫市(嘉瀬下鍛冶町) 鳴海か志(新堤町) 浜田きせ(上昭和町) 山中福次郎(後町) 棟方さな、鳴海豊吉(東町) 秋村みん(下派立) 今七五郎(喜良市川端町) 古川喜七(上柏木) 伊丸岡永三郎(下派立) 桑田東太郎、伊丸岡とめ、桑田よそ(上派立)

○満八十歳に達した長寿者 鳴海ちよ(夫婦) 鳴海豊吉・ソタ夫妻(嘉

○満八十歳に達した長寿者 鳴海ちよ(夫婦) 鳴海豊吉・ソタ夫妻(嘉

#### 特選に

### 小林まり子さん

金木町社会福祉協議会で、この大会を記念して町内各学校から作文を募集しました。その結果、小林まり子さん(金木小三年)が特選を受賞しました。

なお、小林まり子さんの作文は、大会で元気に朗読され、会場のお年寄りのみなさんから惜しみない拍手が送られていました。入賞された方々は次のとおりです。

#### (特選)

小林まり子(金木小三)

#### (入選)

新岡央章(金木小三) 黒滝亜貴子(同三) しらかわしょうこ(川倉小一) いずみやみよし(同二) 黒滝美千代(同三) 外崎文教(同五) 田中美奈子(同六) 山内光代(金木高一) 工藤美紀子(同二) 加藤和子(同二) 泉谷照代(同二)

# おしらせ・お知らせ

## 合同行政相談所を開設

十月十六日(木) 午前十時～午後三時 五所川原市市民文化会館 役所のこと、苦情や困っている方は、どんなことでもご相談下さい。秘密を守り無料で親身になって相談に応じます。

また、当日おいでになれない方は、 金木町小川町 田村 雄三 (☎二一二三二二)

へご相談下さい。いつでも相談に応じます。

## 今年国勢調査の年で

10月1日現在で

### 調査されます

今年国勢調査が行われます。

国勢調査は、大正九年に第一回目が始まり、以来五年ごとに調査されており、今年十三回目に当たります。

国勢調査で得た統計は、これからの日本の政治、経

済の方向を決める諸施策の基礎資料になります。例えば、お年寄りの実態は老人対策を進める鍵となり、母子家庭や父子家庭の実態は母子福祉、児童福祉の充実につながります。

十月一日現在で調査するわけですが、調査範囲が広いので一日では調査できません。ですから、調査員は事前調査で調査にまいりますので、みなさん方もありのままの姿をお答え下さるようお願いいたします。

絶対に、税金やその他の目的に使用されることはありませんので、ご協力をお願いいたします。

### 役場の執務時間が

変わります

(10月1日～3月31日)

平日 8時30分～16時

(昼の休憩

12時～12時30分)

土曜日 8時30分～12時

# 写真 ニュース

先月23日、第35回市町村対抗県民体育大会で、当町ママさんバレーが強豪百石町を2-1で敗り、みごと優勝しました。▼



今日四日、青森県商工会野球大会で、金木町商工会野球チームが優勝しました。  
同チームは、宮城県の東北北海道商工会野球大会に出場します。



十二日、金木ライオンズクラブ（阿部定一会長）から、町制施行六十周年を記念して、金網製のダスターポット（くずかご）五個が寄贈されました。



## 保健婦から一言

手遅れで泣くより

笑顔でガン検診

昭和五十四年の胃ガン検診の結果をみると、受検者四百九十四名中、四〇〜五〇代が全体の五分の三（六十七％）と最も多く、次いで六〇〜七〇代が五分の一（十八％）でした。

ところが、当町のガン死亡をみると、六〇〜七〇代が全体の五分の四（八十一％）と大半を占めており、四〇〜五〇代は五分の一（十九％）です。

これを見ると、若い働き盛りの人はもちろん、六〇〜七〇代のいわゆる老人層も、年だからいらぬといふことなく、積極的にガン検診を受けなければいけないことがわかります。

また、昭和五十四年の子宮ガン検診の結果では、受検者三百六十一名中、精密検査を要した者が七名おうち、早期にガンを発見出

らとか、身体が丈夫だから受けなくてもいい、というのではなく、定期的に自分から進んで検診を受ける事が大事です。

手遅れで泣くより

笑顔で検診を

ガン検診で

不安のない毎日を



## 福祉の相談日

「子供のことから

老人のことまで」

毎週木曜日は福祉の相談日です。子供のしつけや寝

たきりのお年寄りのことなど、福祉についてのご相談に応じています。時間・場所等は次のとおりです。

- 時間 毎週木曜日 午前九時〜十二時
- 場所 金木町役場
- 相談内容
- 子供の相談
- 老人の相談
- 暮しの相談
- 母子家庭やご婦人などの相談
- 体が不自由な方の相談
- 知恵おくれの方の相談
- 団体活動の相談

どうぞご利用下さい。

戸籍の窓口



(七月分)

- 伊藤 暢昭(美和子) 嘉瀬
- 山中 由嘉(弘海) 〃
- 山中 由利(弘海) 〃
- 成田 智哉(正志) 金木
- 今 大樹(良逸) 喜良市
- 西村 梓(謙市) 〃
- 平川 真司(久悦) 嘉瀬
- 小林 英稔(稔) 金木
- 工藤 謙吾(孝) 喜良市
- 小笠原真由美(茂) 金木
- 小松 桂介(巧) 嘉瀬
- 中西 悟(清彦) 金木
- 秋元理香子(慶蔵) 川倉
- 鳴海 玲奈(務) 嘉瀬
- 山中 崇申(文則) 金木
- 松下 絢門(一夫) 〃
- 齊藤 善哉(茂) 時田
- 今 寿孝(寿生) 喜良市
- 齊藤 望(務) 嘉瀬
- 泉谷 和志(佳世) 川倉
- 伊藤 正志(伸也) 嘉瀬
- 山中 貴志(豊) 〃



(七月分)

- (田中) 昇(良治) 金木
- (江良) 恵子(清造) 稲垣村

- 白川 千恵(清丸) 川倉
- 近藤 亮(良一) 喜良市
- 齊藤 昌志(知幸) 嘉瀬
- 松川 弘幸(久美) 〃
- 石戸谷由乃(満) 金木
- 菅原 繭(惇) 〃
- 田中 和幸(広) 金木
- 新岡加奈子(信) 〃
- 棟方 恵(清則) 喜良市
- 吉村 朋晃(直隆) 〃
- 今 理恵(正四) 嘉瀬
- 其田 仁美(豊光) 川倉
- 石戸谷康仁(鏡治) 金木
- 鳴海 雅文(清美) 〃
- 前田和香子(進) 神原
- 沢田 知里(潤) 嘉瀬
- 成田 若奈(勝幸) 藤枝
- 鈴木 忍美(節男) 時田
- 工藤 明子(栄一) 藤枝
- 中村 隆志(仁) 金木
- 原田 綾子(満) 藤枝
- 白川 裕晃(清文) 金木
- 山田 太一(正一) 〃

(八月分)

- (西村) 晴夫(昭二) 喜良市
- (中谷) 公映(定雄) 金木
- (浜野) 光則(市太郎) 小泊
- (長尾) 總子(忠三) 金木
- (今野) 光義(久春) 金木
- (沢田) 眞理子(久弥) 木
- (葛西) 孝志(敏勝) 鶴田町
- (成田) 久美子(久治) 嘉瀬
- (荻原) 信太郎(三郎) 神奈川
- (齊藤) ひで子(正利) 金木
- (飛嶋) 浩(茂作) 喜良市
- (和田) 伸子(秋男) 岩手県
- (小池) 繁光(二夫) 山梨県
- (土岐) 繁子(未之進) 嘉瀬
- (藤本) 繁春(清光) 五所市
- (中村) 貴美子(勇治) 嘉瀬
- (秋元) 二郎(由夫) 喜良市
- (小山内) 淳子(己之吉) 深浦町
- (赤坂) 秀美(耕二) 東京都
- (木村) 光子(不男) 金木
- (山中) 裕(徳一) 嘉瀬
- (秋元) ちせ(利弥) 青森市
- (尾北) 與實(儀一) 石川県
- (伊藤) 克子(豊太郎) 嘉瀬
- (桜井) 章一(喜久蔵) 五所市
- (伊藤) むつ子(正一) 喜良市
- (浜田) 昭人(君春) 嘉瀬
- (竹谷) きみ子(徳雄) 五所市
- (和田) 恵次郎(忠正) 喜良市
- (大橋) 春子(豊秀) 喜良市
- (伊藤) 忠雄(忠三郎) 木造
- (田中) 由賀子(国雄) 金木
- (古川) 義弘(富士五郎) 喜良市
- (鈴木) ふみ(豊) 東通村



(七月分)

- 坂本 武信(65) 藤枝
- 岡田 ヤヨ(91) 喜良市
- 白川 よす(81) 時田
- 高橋 津祢(86) 金木
- 棟方武四郎(58) 喜良市
- 木村峯五郎(77) 嘉瀬
- 近藤 砂吉(71) 喜良市
- 山中 みわ(55) 嘉瀬

- (千田) 謙作(作五郎) 川倉
- (工藤) 英子(友治) 車力村
- (原田) 好彦(文雄) 藤枝
- (花田) 幸子(時一郎) 弘前
- (今) 信昭(豊八) 喜良市
- (田中) 秀子(鐵次郎) 北海道
- (大沢) 正義(定義) 金木
- (仙田) 洋子(勝春) 東京都
- (今) 一志(平蔵) 喜良市
- (飯島) 恵子(清) 栃木県
- (関口) 啓二(守男) 長野県
- (木下) 聖知子(石雄) 嘉瀬
- (石岡) 明雄(政雄) 木造町
- (山田) ふき子(正己) 喜良市
- (原田) 正光(藤衛) 中柏木
- (山谷) 和歌子(辰雄) 中里町

- 吉田 マキ(82) 時田
- (八月分)
- 泉谷宇佐美(69) 川倉
- 角田 平吉(79) 金木
- 鈴木 又芳(72) 〃
- 前田竹次郎(89) 神原
- 徳田吉太郎(75) 金木
- 成田 キエ(74) 〃
- 沢田 軍(38) 嘉瀬
- 伊藤 イト(77) 金木
- 木下 つる(84) 嘉瀬
- 土岐 武一(69) 金木
- 角田 政之(69) 金木
- 白川 賢(18) 〃

- (宮本) 兼政(勘七) 中里町
- (松橋) 久美(小彌太) 金木
- (植村) 憲昭(勘一) 青森市
- (阿部) 久美子(久治) 金木
- (中村) 正(本真) 喜良市
- (田中) まり子(作太郎) 中里町
- (今) 博敏(辰春) 中里町
- (浅利) みよ(勝雄) 川倉
- (岩永) 周一(享) 東京都
- (白川) 松子(政貞) 金木
- (秋元) 幸夫(健三) 岩崎村
- (田中) 久子(武二) 金木
- (長内) 政昭(政五郎) 喜良市
- (今) 善子(彦衛) 稲垣村

編集後記

まったくひどい冷害に  
なつたものです。九月も過ぎ  
ようというのに、稲の穂は  
まっすぐ上を向いたままと  
は……。いつもなら、黄金  
色の穂が、重たそうに下に  
垂れ、農家は刈取りや精米  
の準備に忙しいはずなのに  
作況は町全体で二十八%と  
か、ひどい所ではまったく  
の皆無作になっている。今  
は、一刻も早く国や県に認  
定してもらい共済金が支払  
われることを望みます。冷  
害にあわれた農家のみなさ  
んに心からお見舞い申し上  
げます。

統合金木小学校の落成を  
祝い、福田元信氏(㊦)ふく  
だ社長)により、教育振興  
ふくだ基金が創設されまし  
た。ありがとうございます。

農業委員会は三階(産業  
課となり)に移転、また、  
北地方人材銀行相談所も同  
所に移転しました。